

の判断基準がなかなか持てないと思うが、その妥当性について伺います。

A 今回の特別企画については、春休み、ゴールデンウィーク、夏休みという3つの期間を合わせたもので事業金額を算定している。

Q 年間来館者数と有料入館者数の目標の数値は。

A 年間来館者数は30万人、有料入館者数は10万人を目標としている。

Q 現在の実績の数字とその評価はどのように考えているのか。

A これまでの来館者数は13万8214名、うち有料入館者数は6万7539名であり、順調に目標ラインに沿っていると感じている。

Q 有料での入館者数が特に多いようだが、その評価は。

A 順調ではあるが、引き続きしっかりと頑張りたい。

Q これから団体利用、特に修学旅行や遠足でご利用いただくことが大変重要と考えるが、その取り組みや実績をお伺いする。

A 9月9日までの集計で、学校団体が37団体、2242名、その他の団体が194団体、7004名となっている。

Q 多くのお客様にご利用いただいている「ひととものづくり科学館」であるが、周辺への波及効果や経済効果はどのように捉えているのか。

A わくわくコマツ館などの周辺施設は総じて昨年比で伸びていると聞いている。当館では、周辺施設への波及効果を高めるため、パンフレットの設置を積極的にやらせていただいている。

みどりの風

浅村 起嘉議員

◆ひととものづくり科学館 管理運営費について

Q 特別企画について、来年度のテーマや対象はどうか。

A 内容は、新規性や話題性上がるもので、家族連れを意識し子どもと一緒に大人も楽しめるものを採用したい。

Q 団体の利用状況はどうか。遠足では博物館や埋蔵文化財センターなどのコースがあるとうかが。

A 大型バスは3台収容できるが、県外からは富山が多い。福井市内からは電車でも来られている。展示物には九谷焼の色彩が燃焼によって変化するものや勾玉の断面を顕微鏡で見ることができているものがある。

今後も関連機関と連携し、ヒルズから広がりを持つ仕組みの構築を考えていきたい。

Q 施設利用者への駐車券の割引を特別企画で行えないか。

A 主催者側に駐車券の割引について要望したい。

◆予防接種費について

Q 制度が拡充されるが経緯と市民への周知はどうか。

A 国の予防接種法の改正により、新たに定期予防接種として水痘ワクチンと成人用肺炎球菌ワクチンが追加されたことに伴うもので、対象の方に接種券を送付する。

Q 該当する人数と接種に関する費用は。

A 水痘ワクチンは、1歳から4歳まで約3900人で社会的流行を抑えるため全額助成とし、肺炎球菌ワクチンは65歳から5歳刻みで約6400人で個人的な予防のため3割程度の自己負担となる。

宮川 吉男議員

◆小松市スポーツ振興基金 条例について

Q 新たに条例を設置した目的と基金活用に新たに7項目を設けた根拠は。

A 全ての市民がさまざまなスポーツ活動を通じ、豊かなスポーツライフを実現できることを目的に設置したものである。

ある。

Q 各種スポーツ団体から新施設の要望があるが、今後の施設計画は。また、シニア層対象の施設整備の考えは。

A 小松市スポーツ推進計画に基づき、魅力ある施設の整備、充実に努めていきたい。

Q 小学校運動場に夜間照明が2基と3基に分かれているがその理由は。2基の所に増設の考えは。

A 平均100ルクスというのがナイター照明の基準であり、安全性は確保されていると思っている。今後、必要に応じて照度測定等を行い、現状を把握していきたい。

無会派

橋本 米子議員

◆スマートシティこまつプロジェクト推進費について

Q この事業は、地球温暖化を防止し、エネルギーの地産地消を進めていく事業と思うが、どう進めるのか。

A 節電やごみの減量化等に対する意識付けや地域特性を生かしたエネルギー源の代替可能性を検証し、豊かな低炭素地域づくりを目指したい。

Q スマートシティ、低炭素社会実現に向け、今回の

可能性調査ではどのような内容を考えておられるのか。

A 省エネ等に関する意識を把握するためのアンケート調査をはじめ、未利用資源の活用や新しい技術の導入検討を考えている。

木下 裕介議員

◆小中学校体育館天井対策費について

Q 現在の状況と今後の予定は。

A 対策が必要な17施設のうち、4施設は既に終了。残る13施設についても来年度の工事完了を目指している。

Q 照明器具についての対応は。

A 更新が必要な33施設を、平成23年度からの4年間で計画的に取り替えてきているところである。

Q 昨年、公会堂の天井改修工事が完了した。教育施設以外の天井対策についてどう取り組んでいくのか。

A 国土交通省からの改善指導指針が出された時点で詳細な調査を行い、計画的な改善に努めていきたい。

常任委員会の審査報告

総務		企画	
委員長	北出 隆一	副委員長	吉村 範明
委員	木下 裕介	委員	吉本慎太郎
委員	飛弾 共栄	委員	灰田 昌典

付託議案2件は、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

■平成26年度小松市一般会計補正予算(第2号)中間部分について

複数の自治体で、個人住民税の還付加算金計算の起算日にかかる地方税法の解釈が異なる事例が発生したとの報告があり、早急かつ適切な事務処理を求めました。

■報告第10号健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

バランスよく企業誘致することでの雇用創出や法人市民税等の安定増収を見据え、誘致の促進を強く求めました。

経済		環境	
委員長	片山 瞬次郎	副委員長	浅村 起嘉
委員	高野 哲郎	委員	川地 仁志
委員	浅野 清利	委員	川崎 順次

付託議案2件は、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

■台湾との交流について

多岐にわたる台湾との交流が進んでおり本市としてしかるべき部署に台湾交流窓口を設置するよう強く求めました。また、台湾からの誘客促進などについて、加賀地域をはじめとした、広域連携を求めました。

■小松米のブランド力アップについて

米食味コンクールについて、コメ作りの評価にとどまらず、高水準で均質な食味を確保する技術が、すべての生産者に実践されるよう求めました。

■NEXT10年ビジョンについて

市の将来像を決める大事なビジョンであるため、慌てず慎重に策定するとともに、進捗を逐次、議会に報告するよう求めました。

■消防ふれあいフェアについて

乗車や救急体験等を通じ、消防行政、消防団活動を理解していただける好機だと捉え、大いにPRするよう求めました。

消防団のポンプ自動車の更新については、他市町の状況を把握し、再検討するよう求めました。

■重点調査項目について

行財政改革について、ニーズの多様化によりサービス向上が求められる中、職員については、削減ありきではなく、創意工夫するよう求めました。

■請願第5号「消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願」について

消費税増税の撤回と再増税の中止を求めるものであることから、全会一致で不採択と決しました。

■グッドマナーこまつへの推進について

車用ステッカーを100枚配布することのことですが、グッドマナーが定着するようさらにも多くの方への配布を要望するものです。エコドライブ推進のため、運送会社、バス会社、タクシー会社などにもステッカーを配布するよう求めました。

■小松市スポーツ振興基金条例について

本条例は全ての市民が豊かなスポーツライフを実現できるように基金の活用事業を拡大するものです。障がい者スポーツ活動の普及・振興に向け、専用練習場の整備や指導者の育成・確保を求めました。

■重点調査項目について

小松駅南ブロック土地利用について、優先交渉者の選定を8月中に実施する計画でしたが、今議会において年度内に基本概要を固めるといふことにスケジュール変更がされました。将来を見据えて、様々な角度から検証し、慎重な事業実施を要望するものです。

福祉		文教	
委員長	二木 攻	副委員長	井田 秀喜
委員	一川 政之	委員	宮西 健吉
委員	杉林 憲治	委員	表 靖二

付託議案2件は、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

■診療費等未収金回収業務委託の状況について

今後も患者負担の公平性を確保していくためにも、特に高額未納者については、毅然とした対応を行っていくよう求めました。

■子ども・子育て支援新制度について

小松市として、県との連携の中で、認可決定や来年4月からの移行がスムーズになされるよう、しっかりとしたバックアップを行うよう求めました。

■社会福祉法人について

建設		建設	
委員長	宮川 吉男	副委員長	宮橋 勝栄
委員	新田 寛之	委員	梅田 利和
委員	出戸 清克	委員	橋本 米子

付託議案1件は、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

■サイエンスヒルズこまつ管理運営費について

全館オープンから1周年を迎える春休み、ゴールデンウィーク、夏休みに特別企画を開催する費用が計上されました。平成27年3月の北陸新幹線金沢開業、5月の全国植樹祭の開催により、県内外から多くの方が訪れます。さらにより良い施設にするために必要な予算措置を行うことを求めました。

■市営住宅整備費について

市営住宅の計画をしっかりと示すとともに

地域に根ざした健全な法人運営を推進していくためにも、県との連携のもと、しっかりとした指導監督を行っていくよう求めました。

■虐待防止について

小松市虐待等防止協議会との連携のもと、行政として、より信頼され、より相談しやすい環境の整備を目指し、継続的な取り組みを求めました。

■小松市通学路安全推進協議会について

単なる関係機関の意見交換で終わることなく、教育委員会の強力なリーダーシップのもと、窓口の一本化や不審者対策など実効性のある取り組みを求めました。

■学校給食の見直しについて

今後も段階を踏んだ丁寧な議論の中で見直しを進めていくよう求めました。

■重点調査項目について

小松市の「ICT教育」、「特別支援教育」、「学校給食」の3つの施策を中心に調査研究を行っていくこととしました。

に、管理組合や町内会と協力して防災訓練を行い、消火器の設置場所等について入居者に啓発していくことを求めました。

■旧西軽海汚水処理施設解体費について

跡地については、整地後、民間へ売却する予定のことですが、町内会と跡地利用について十分に協議していくことを求めました。

■重点調査項目について

長野県へ視察を行い、鉄道・運輸機構より説明を受けました。長野新幹線が通過する高架橋付近において、騒音測定を行いました。上下線の通過時の騒音レベルは実測値で70dbに満たず、静かな乗用車のアイドリングと同じレベルでした。景観対策として丸みを帯びた橋脚も視察しました。

特別委員会の調査研究から

議会改革調査 特別委員会

先の6月定例会において、議員定数を22人とする条例案が可決され、次期選挙から新定数が適用されることとなりました。この結果を踏まえて、議会改革の方向性について、協議を行った結果、次の3点を最重要課題としました。

委員長	川崎 順次
副委員長	吉村 範明
委員	吉本慎太郎
〃	高野 哲郎
〃	片山瞬次郎
〃	二木 攻
〃	宮川 吉男
〃	北出 隆一

■**常任委員会の再編について**
現在の4常任委員会を3常任委員会に集約し、所属人数を7人から8人とする方向で検討を開始しました。3つに集約することで、1委員会あたりの所管範囲が広がり、専門性が高まること、また、所属人数が増えることにより、議論がより活発となり、議会の政策・監視機能が高まるなどの利点があります。

■**予算審議機関の設置について**
平成21年6月定例会より、予算審議の充実をはかるため、4常任委員会合同による連合審査会を開催していますが、これを

■**本会議における一問一答方式の導入について**
従来の一括質問一括答弁方式に加え、一問一答方式を選択制として導入する方向で検討を開始しました。一問一答方式を導入することで、一般質問の論点又は争点がより分かりやすくなり、議員の資質向上にもつながるものと考えます。



河内長野市議会では予算審議機関ならびに一問一答方式について意見交換を行う委員会メンバー

小松基地・空港対策 特別委員会

委員長	灰田 昌典
副委員長	川崎 順次
委員	新田 寛之
〃	浅村 起嘉
〃	高野 哲郎
〃	片山瞬次郎
〃	二木 攻
〃	円地 仁志

■**在日米軍再編に係る訓練移転について**
小松基地に係る情報については、現段階では入っていないとのことですが、訓練移転については、小松市民の最大関心事であることから、訓練の実施については速やかな情報提供を

■**自衛隊創設60周年記念航空祭について**
航空祭の事前訓練について、騒音の関係上、極力民家の上空を飛ばないよう配慮できないかとの意見や訓練当日の飛行時間帯を事前にお知らせできない

■**小松基地隊員の逮捕について**
8月30日の隊員の逮捕に対し、小松基地司令から謝罪の言葉がありました。隊員に対しては、教育研修を実施していくとのことですが、今後は、こういった不祥事がないよう隊員の綱紀粛正に努めるよう求めました。

■**航空祭は、入場者数が10万人を超える一大イベントであり、経済効果も大いに期待される所ですが、周辺農地ではコシヒカリの稲刈り時期でもあります。農作業等に支障がないよう、違法駐車・無断駐車などの取り締まりをしっかりと行うとともに、警察との連携により、交通安全に十分配慮するよ**

求めました。事前訓練の飛行時間については、訓練日当日の天候や、民間航空機の離発着時間等との調整により、訓練の直前まで決まらない状況であり、難しいとのことでありました。

また、執行部に対しては、多様な観光施策を打ち出し、創意工夫し、より多くの人たちに来て頂けるよう鋭意努力するよう求めました。



2014航空祭 in KOMATSU

予定 12月定例会の日程

平成26年

12月1日(月)	開会、市長説明
8日(月)	質疑・質問
9日(火)	質疑・質問
15日(月)	常任委員会
16日(火)	特別委員会
18日(木)	委員長報告 採決、閉会

※日程は変更になる場合があります。あらかじめ小松市議会事務局までお問い合わせください。ぜひ傍聴にお越し下さい。

議会だよりへのご感想をお寄せ下さい



市民の皆様の声を集めます。議会だよりに対してのご感想などがありましたら、下記のあて先までお気軽にお寄せ下さい。

〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
小松市議会事務局
TEL.0761-24-8138 FAX.0761-23-3676
E-mail gikai@city.komatsu.lg.jp

小松市イメージキャラクター「カブッキー」

小松市議会ホームページ

<http://www.city.komatsu.lg.jp/gikai/>

身近で開かれた市議会を目指し、ホームページで様々な情報を公開しています。

市議会の役割や仕組み、議員や委員会の紹介、議会日程、議会だよりなどを掲載しています。ぜひご利用下さい。

本会議インターネット中継

<http://www.ustream.tv/channel/komatsu-gikai/>

小松市議会録画映像配信


<http://arc.gikai-web.jp/dvl-komatsu/index.html>

議会だより編集委員会

委員長	宮橋 勝栄
副委員長	浅村 起嘉
委員	新田 寛之
〃	吉村 範明
〃	高野 哲郎
〃	片山瞬次郎

(片山瞬次郎)

編集後記



1970年の国内旅行キャンペーンに「日本の魅力を再発見しよう：ディスカバー・ジャパン」というのがありました。

これを、現在2014年の小松市に当てはめれば、外国人や他の地域人の眼に映っている小松の魅力の、何か、潜在力を引き出す、誇れるまちづくり「小松の魅力・再発見」です。

いよいよ明年3月は北陸新幹線金沢開業です。

時代は、国をあげての「地域の潜在力を引き出す、地域創生の時代」です。

私たち議員は、議会の中で、新たな視点で地域の創生のため、活力ある地域づくりを目指して、市民の皆様の見解を、市政に反映していきたいと思えます。

また、市民の心に届く、市民の思いを市政に届ける議会を、更にめざしてまいります。




鉄板酒房

OKONOMI-YAKI
TEPPAN-YAKI

小松市栄町13-1 TEL.0761-58-0768
[営業時間] 17:30~25:00 [定休日] 木曜日

まいどおおきに

働くみなさまを応援します!



〈ろうきん〉は自治体と提携し、 低利な融資をご用意しております!

無担保 勤労者小口資金融資制度
勤労者育児・介護休業資金融資制度

詳しくは、北陸ろうきん 小松支店 TEL 0761-22-3342まで

企画・デザイン・総合印刷

株式会社 ゲンダ 美術印刷

〒923-0903 石川県小松市丸の内町2-32 小松市役所近く(西口通り)
TEL.0761-22-7031 FAX.0761-22-7131

“カウンセリングを お受けします”

お話の内容は他の人に漏らしません
初回(30分)無料 次回(50分)より3,000円

カウンセリングルーム 一英(イチエイ)

NPO法人 日本交流分析協会

とみやま しげき
交流分析士准教授 TA 心理カウンセラー **富山 茂樹**

〒923-0303 小松市島町チ20
TEL:090-6274-1398(予約制)

有料広告への掲載、ご協力ありがとうございました。
引き続き有料広告の募集を行なっていますので、ご希望の方は小松市議会事務局までお問い合わせ下さい。